

(様式1)

平成25年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 089	提案機関名 JA かながわ西湘
要望問題名 漬け梅用品種 十郎の優良系統の選抜について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】  漬け梅用品種である十郎は開花時期が早いため、ミツバチを導入しても年次により着果が安定していない。これは生産者としても焦眉の問題であり、生産量が安定しないため、地元漬物業者への供給も安定しておらず、地域経済への影響をもたらしている。  新品種の育成ではなく、連年着果が安定している系統の選抜をお願いしたい。	
解決希望年限	1年以内      2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> 4～5年以内      5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input checked="" type="checkbox"/> 農業技術センター      畜産技術所      水産技術センター 自然環境保全センター
備考	

ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	果樹花き研究部
対応区分	実施    実施中    継続検討    実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 調査指導対応    現地対応    実施不可		
試験研究課題名 ( 、 、 の場合)			
対応の内容等 ‘十郎’に関しては、産地において十分な着果量が確保できない年が続いております。原因は暖冬により開花期が早まり受粉が不十分になることや、その後の低温による凍害等が挙げられます。また本年は、春先の低温により開花期が遅れ、他の品種と開花期が重なっていたものの、結実は少なくなりました。このような気象変動の中、現地の同一条件下で連年結実が安定した樹体が存在すれば、その要因について解明し、地域への還元を図ることは課題解決への有効な手段と考えられます。 現地において、そのような優良樹体がありましたら、周辺環境、受粉樹との関係を含め、その特性や生産性の調査に協力させていただきます。			
解決予定年限	1年以内    2～3年以内    4～5年以内    5～10年以内		
備考			